

10月は校内授業参観月間 ～ 開かれた教室で授業改善 ～

あらゆる教育活動の中で、授業は命。お互いの授業を見あつて感想を話し合い、授業の改善につなげよう。本校ではこの10月、「校内授業参観月間」と銘打ち、新しい取り組みが始まりました。とかく教室は、生徒と教師の密室状態で行われるため、かつての私を筆頭に教師は自己本位の授業をしがちな傾向があります。



1年「数学」 全員が集中しています



3年「国語」 生徒の目線に立ち机間巡視

先生方は、他者に見られている緊張感から『その教え方は、はたして他の人が見てわかりやすいかどうか』を絶えずフィードバックして授業を進めることになり、結果的に授業内容が改善されるわけです。

この月間で、さらに本校が生徒中心の教育が実践できることを願っています。

介護実習事前準備 ～ 命を守る実習体験 3年福祉コース ～

いよいよ10月12日より、3年福祉コースでは介護実習が始まります。実習は「訪問介護サービス同行訪問（ヘルパー実習）」と「介護施設実習」の2種類です。福祉系に進学や就職をする生徒はもちろん、他の進路へ進む生徒にとっても、またとない貴重な社会経験です。厳しい介護現場での体験では、普段の甘えやいい加減な行動は許されません。しかし社会的弱者であるお年寄りに寄り添い命を大事にする体験は、今後の人生に大きな影響を与えることと思います。



実習の心構えを生徒へ熱く語る私

困ったお話(その8) 悩ましいネギトロ

仕事の帰り、地元の小売店に寄った時のことだ。たまには贅沢をしたいと刺身コーナーを覗いた。そこには「ネギトロ」と表示されたパックが420円で売っていたので、迷ったが意を決し買い物かごに入れた。

ところが、ふとその隣を見ると「本マグロ入りネギトロ」と表示されたものがあることに気づいた。プリント文字が違うだけで、パッケージの形も色も中身も同じに見える。「なんだ同じじゃないか。」安堵した次の瞬間、恐ろしいことに気づいた。なんと、値段が違う。しかも予想を裏切るような結果が待っていた。「本マグロ入りネギトロ」は400円で、「ネギトロ」より20円も安いのだ。愕然としてパックの裏面を見ると、さらに衝撃が走った。なんと「本マグロ入りネギトロ」のほうが、20グラムも量が多いのだ。

2重の衝撃を受けながら私は考えた。「本マグロ」とは付加価値なのではなく、私の好きな「お値打ち品」みたいに品質が劣る業界用語なのではないか？ しかしその考えは、すぐに打ち消された。そうだったら、本マグロよりも他のマグロのほうが高級で、キノコでいえばホンシメジよりも他のシメジのほうが高級になってしまう。「本みりん」と「みりん風調味料」の関係だってそうだ。困り度MAXだ。この謎を解決する道は一つ、店の人に訊こう。シャイな私は勇気をふりしぼり、売り場にいた白装束の店員に尋ねると…

『そりゃあ本マグロだから…』 『あれえ？ う～ん、わかんないね～ はっはっは。』

私は急いで「ネギトロ」を戻し、「本マグロ入りネギトロ」を手にとるとレジに向かった。



☞ 実物がこうだったらイヤだ